

## 【 結 果 の 概 要 】

### 1 回答者の属性について

- 性別：男性 575 人(43.1%)、女性 732 人(54.9%)
- 年齢：18～19 歳 (0.8%)、20～29 歳 (7.8%)、30～39 歳 (11.2%)、40～49 歳 (18.1%)、50～59 歳 (19.5%)、60～69 歳 (24.2%)、70～79 歳 (9.8%)、80 歳以上 (6.7%)

### I 鳥取県の住みやすさについて

- 鳥取県に対する愛着や誇りに思う気持ちは、約 8 割の人が「感じている」と答えている。
- 鳥取県で、今暮らしている地域は、約 7 割以上の人が「住みやすい」と答えている。
- 豊かな自然環境に恵まれていると感じている人が約 9 割と圧倒的に多く、また治安も良く、住民が親切で、人と人との繋がりがあると約 6 割の人が答えている。
- 生活の中で公共交通機関の整備は、約半数の人が「整っていない」と感じている。

### II 鳥取県の施策の満足度と今後の優先度について

#### 【豊かな自然でのびのび鳥取らしく生きる】

- 「農業の活力増進」「農林水産・畜産業の担い手育成」の農林水産関係、また「外国人観光客が訪れやすい観光地づくり」「鳥取県周辺地域と連携した観光客推進」等の観光関係に『不満』の意見が多い。しかし、「観光資源を活用した誘客の取組」「豊かな自然環境の保存・活用」「次世代エネルギーの推進や二酸化炭素排出量削減」等の取組には『満足』と感じている。

#### (今後優先すべき重要度の高い項目)

- 「農林水産・畜産業の担い手育成」「農業の活力増進」「農林水産物の販売」等の農林水産関係を優先すべきとして意見が上位を占めている。

#### 【人々の絆が結ばれた鳥取のまちに住む】

- 「中山間地域の安心と元気をつくり出す」が『不満』の意見が最も多いが、「若者の出会い、結婚応援」「子どもたちに多様な学びの機会」「女性が活躍できる社会に向けた取組」も 3 割前後が『不満』を感じている。しかし、「安心して出産や子育てできる環境」は『満足』と感じている意見が多い。

#### (今後優先すべき重要度の高い項目)

- 「安心して出産や子育てができる環境」「子どもたちに多様な学びの機会」「女性が活躍できる社会に向けた取組」等の女性・子育てに関する項目、また「高齢者や障がい者が輝ける地域づくり」「中山間地域の安心と元気をつくり出す」等の意見が上位項目となっている。

#### 【幸せを感じながら鳥取の時を楽しむ】

- 「働く場の確保」などの就労・雇用関係や「暮らしやすく、町を元気にしていく」「住み続けたい・帰りたい鳥取県を創造」「新たな産業を生み出す」等に『不満』を感じている意見が多い。

#### (今後優先すべき重要度の高い項目)

- 「働く場の確保」「住み続けたい・帰りたい鳥取県を創造」の取組を 5 割以上の人が優先すべきと答えている。

### 【県政のさまざまな取組】

- 「地域犯罪や交通事故等の抑制・防止」「医療体制の強化」については、やや『満足』と感じている人が多いが、「道路網の整備等県内交通の高速化」については、約4割の人が『不満』を感じている。

#### （今後優先すべき重要度の高い項目）

- 「災害に強いまちづくり・防災意識啓発」「健康を守り、医療体制を強化」「県内交通の高速化」を優先すべきと4割強の人が答えている。また「子どもの学力向上」も4割弱の人が重要だと答えている。

## Ⅲ 重点施策への関心・認識

### ＜人口問題について＞

- 鳥取県の人口減少予測について、約6割の人が「知っていて、関心もある」と答えている。
- 鳥取県の人口増への取組は、「雇用の場の創出」を優先すべきという意見が6割以上、また「結婚や出産への支援」「子育ての環境充実」「県外大学に進学した県内出身者のUターン促進」も4割が優先すべきと答えている。

### ＜子育て施策について＞

- 鳥取県の子育て施策の中では、「子育て王国とっとり」は7割以上、「とっとり子育て応援パスポート」については6割以上の人が知っている」と答えている。
- 出生率を上げるために今後、強化が重要だと思う項目は、「出産・育児後のスムーズな職場復帰への環境づくり」「子どもを安心して預けられる体制の整備」「保育料の減免、子育て世帯への経済的支援」について6割強の人が強化が必要だと答えている。
- 鳥取県の婚活支援事業については、「積極的、あるいは行うべき」と7割弱が答えている。また、その理由として「出会いや結婚は重要な問題で行政の支援も必要」「少子化対策に繋がると思う」と5割弱の人が答えている。

### ＜移住定住に関する施策＞

- 鳥取県の移住定住施策には、7割以上の人が「就職・起業・就農などの仕事の確保」、4割前後の人が「若い世代への移住定住の働きかけ」「鳥取県の住み良さについて積極的なPR」を強化することが必要と答えている。
- 鳥取県の住みよさを県外の方へアピールするには、8割の人が「自然が豊かである」、6割の人が「食べ物の安全性が高く、美味しい食べ物が多い」、約半数の人が「治安が良く、犯罪が少なく感じる」と答え、『自然、食、安全』をアピールした方が良いと答えている。

### ＜就業や雇用に関する施策について＞

- 『鳥取県正規雇用1万人チャレンジ計画』は、7割以上の人が「知らなかった」と答えている。
- 雇用や就業支援に関しての取組は、「企業誘致など働く場の確保」を強化すべきと6割以上が答えている。
- 今後、鳥取県において必要となる産業分野は、「医療・介護福祉産業」「農林水産・畜産業」と6割弱の人が答えている。